



2024明治安田J1リーグ ホーム最終戦セレモニー



稲城市をホームタウンとして活動する東京ヴェルディは、12月8日の第38節京都サンガF.C.戦をもって、2024シーズンが終了しました。

令和5年12月2日、16年ぶりのJ1復帰が決定。令和6年2月25日、国立競技場で横浜F・マリノスとの開幕戦が行われると、市内でもホームタウンチームを応援する気運は更に高まりました。

11月30日の2024明治安田J1リーグ第37節のホーム最終戦(川崎フロンターレ戦)には、2万6,000人を超えるファン・サポーターが来場しました。惜しくも敗戦となってしまいましたが、谷口 栄斗選手がハットトリック(一試合に三点以上得点すること)を決める等、白熱した試合展開となりました。試合後には、ホーム最終戦セレモニーが行われました。

2024シーズンは、14勝14分10敗勝点56で6位と健闘しました。そして、2月からは2025シーズンが始まります。2025シーズンはさらに順位を上げられるよう、一丸となって応援しましょう！

☎観光課ホームタウン支援推進係

城福 浩監督コメント



令和5年の12月2日、この日を境に我々を取り巻く環境は劇的に変わりました。まずはじめに雰囲気です。ここまで望んできた「J1」、1年で去ってはいけない、この舞台を絶対に譲ってはいけない、だから絶対に諦めてはいけない。そういう雰囲気を皆さんが作ってくれましたので踏ん張れました。我々にとって、本当に皆さんは「宝」です。

1年間、我々を支えてくださり本当にありがとうございました。

森田 晃樹選手コメント



令和6年はJ1という新しい環境で、チャレンジャーとして挑み続け、一歩ずつでも、確かに成長した1年だったと思います。

うまくいかない試合もたくさんありました。それでも皆さんの支えがあったからこそ、今のヴェルディがあると思っています。改めまして、ヴェルディを愛する全ての皆さん、ありがとうございました。

inagicity | TOKYO VERDY ホームタウンでの取り組み



開幕に向け応援フラッグ記入



市職員ヴェルディ応援ウィーク



応援動画の作成



稲城市ヴェルディ応援DAY



学校訪問